

NPO 法人コスモ夢舞台

フクロウだより

Vol.9
第4号



平成30年10月28日

間もなく11月、いよいよ本格的な紅葉のシーズンに入っまいります、会員の皆さまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

豊実では先週末10月20日（土）、お陰さまで里山アート展も無事終了いたしました。その間6日（土）には、助成団体である芸術文化振興会の視察官の来訪もあり、アート展会場と展示館をくまなく巡回されました。

さて、後片づけの済んだ最終日の翌朝21日（月）、開催15回目を記念してシンポジウムが開催されました。

「コスモ夢舞台にみる里山資本主義」と題した佐藤さんの基調講演は、現場写真を多用した分かりやすく楽しいものでした。出席した皆さんの発言も、実感のこもった率直な意見や感想が多く、記憶に残るシンポジウムとなりました。

ところで皆さまもご承知の通り、今年は春からウーファーの来訪が続き、7月以降は10名を超えました。ウーファーの皆さんの活躍は、高齢化する我われの体力を補って余りあるものでした。

さらに、ウーファーの皆さんが里山アート展に出品参加して下さったことも特筆すべき出来事でした。15回目を迎えた里山アート展が4ヶ国5名の参加で、にわかに国際色を強める結果になったのです。

さて11月に入りますと、18日（日）新潟の朱鷺メッセで新潟日報社と、県と市の社会福祉協議会共催のセミナー“福祉、介護、健康フェア2018 in 新潟”が開催されます。そのセミナーブースに佐藤さんが出演されます。「里山アート展がつなぐ交流と地域共生」を語ります。ぜひ、ご期待ください。

（事務局/森絃一）

<直近のイベント予定>

○「福祉、介護、健康フェア2018 in 新潟」朱鷺メッセ（セミナーステージ1F）

11月18日（日）13：45～15：00

佐藤さんのテーマ「里山アート展がつなぐ交流と地域共生」

*出席希望者は 大塚さんまでご連絡ください（090-2455-4205）。

11月18日の講演会

佐藤賢太郎

日本は、国に1千兆円を超える借金があり、介護者は増え、年金の受給は年々減額し、人口減による過疎化地域が増え、バブル崩壊、原発事故と先行き暗い話ばかりです。

そんな背景か、五木寛之さんの「下山の思想」がベストセラーになりました。「下山の思想」は、もはや経済成長を目指すのではなく、実りの多い成熟した下山をめざすべきだとあります。社会の目標も社会システムもこれまでの経済成長と拡大路線から大きく変えていかなければならない。では、その根幹に据えるべきものは何でしょうか。

「自然との共生」です。では下山の時代にふさわしい社会システムとは具体的にどのようなものでしょうか。

私は多くの方から元気ですねと言われていています。なぜでしょう。思うに明確な目標がある、健康にいい食事をしている、良い人間関係がある、常に運動をしているなどがあげられます。明確な目標にむかって毎日勉強をしています。先にあげました「下山の思想」などのように人間の生き方を朝起会で学んでいます。

さて話を元に戻しますと、具体的に社会のシステムを変える事例として、藻谷浩介さんが書いた「里山資本主義」があります。一度放置された里山の自然に目を向けよう。里山はマネーの尺度で見ると限り、なんの価値もない裏山かもしれません。しかし自然の尺度で見ると、豊かな土地であることが分かります。

人間にとって最低限必要な水と食料と燃料がお金を介さず手に入ります。コスモ夢舞台の会員は長年にわたり、そのベースを作ってくれた立役者であります。私はこれを、このように継続的に発展させ、動ける限り実践してまいります。この夢を受け継ぐ、若い方を求めています。このような実際の話講演会の内容にしてまいります。付け加えますと、来場される皆さんには証人となっていただきたいと思えます。

福祉・介護・健康フェア2018 in新潟——開催のご案内

安心できる暮らしを提案～明日のためにできること、地域共生社会の実現に向けて～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃はコスモ夢舞台の活動にご支援とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、この度、別紙にありますように**福祉・介護・健康フェア2018安心できる暮らしを提案～明日のためにできること、地域共生社会の実現に向けて～**におきまして佐藤賢太郎さんが出演します。

「近年、少子高齢化がますます加速するなか、地域のつながりが希薄化している社会環境のなかで、人々が手を取り合って、支え合う心をもつことは重要なことです。同フェアでは安心できる暮らしを提案～明日のためにできること、地域共生社会の実現に向けて～をスローガンに地域社会が共に支え合い、世代や分野を越えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会を目指して、開催されます。」（開催要項から）ところで佐藤賢太郎さんは「外国人ウーフのホストとしての活動をはじめから5年が経ち、ウーファーの数は年々倍増しています。それは無農薬米作り、玄米菜食主義、助け合い、あるものを活かす循環・再生・創造のエコ生活があるいはマクロビオテックな料理が世界の若者に受けています。」ウーファ達は豊かな自然環境への賛美とともに佐藤さんご夫妻の生き方に感動されています。

今年開催15回目を迎えた「里山アート展」にしても、文化の違うウーファー7点の作品参加が花を添えています。「いかに生きるか？」という彼らの、そして我々に共通する真摯な姿勢は、アートや創造の世界でもいかになく作品に表現されていきます。

阿賀町豊実は県下でも有名な過疎の集落で、空き家も増えている現状ですが、「感動ある人間交流」「本物と向き合う」「一人ひとりが輝く」をモットーとするコスモ夢舞台は都市との交流ばかりか国際社会にも通用しています。

また佐藤さんは関東首都圏の中・高校生を中心とした農家民宿の体験学習で礼儀を教え弱者との共生する実践をしています。また若い地元大学の学生や諸外国の若者たちに生活スタイルの指針も与えています。あらゆるチャンスを活かして我われも絆を深めて生きたいと考えています。

新潟日報社、新潟県社会福祉協議会、新潟市社会福祉協議会の主催で開催され、初めて佐藤賢太郎さんが出演いたします。「**里山アート展**」が**つなぐ交流と地域共生**は、**セミナーステージで来る11月18日(日曜日)、13:45～15:15**開催いたします。

楽しんでいただけるものと存じますので、お知り合いの方もお誘いのうえご来場いただければ幸いに存じます。

敬 具

平成30年10月吉日

佐藤賢太郎の出演世話役
大塚秀夫

記

「里山アート展」がつながく交流と地域共生～佐藤賢太郎さん出演イベントのご案内～

日時 11月18日（日）13時45分～15時15分

会場 朱鷺メッセ（セミナーステージ1F）

住所 〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号 TEL. 025-246-8400

交通 JR新潟駅下車万代口バスターミナル3番線乗り場より（15分）

新潟交通「佐渡汽船線」に乗車「朱鷺メッセ」バス停下車

【新潟駅前・万代シティから】大人210円 小人110円（後払い）

バス時刻表

11時 05 20 35 50分

12時 05 25 45分

13時 05 25 45分

朱鷺メッセへのアクセス



